

2012年5月18日

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社

空調自動制御に対応した「ECO・POM・PA(エコポンパ)」を発売

平成23年度エネルギー管理システム導入促進事業費補助金(BEMS)の対象、補助率1/2

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社(取締役社長:渡邊修徳/以下、当社)は、省エネ支援ASP*1サービス「ECO・POM・PA(以下、「エコポンパ」)」に、平成23年度エネルギー管理システム導入促進事業費補助金(BEMS*2)要件の空調自動制御機能および遠隔からのリアルタイム監視機能を追加し、6月1日よりサービス提供を開始します。これらの機能への対応により、本補助金の対象システムとして、補助率1/2もしくは1/3*3となる要件を満たします。

2010年4月の改正省エネ法*4施行を受け、当社は昨年7月、今後本格的な需要の拡大が見込まれる省エネ支援ASPサービス事業に参入しました。環境配慮型生活インフラ事業として「エコポンパ」サービスの提供を開始し、多店舗・多拠点企業向けに、使用電力量および具体的な省エネ行動指示の「見える化」(表示端末へタイムリーに表示)によってお客様の省エネ活動を支援しています。

今回新たに、EMS*5端末を空調自動制御機能および遠隔からのリアルタイム監視機能に対応させるソフトウェアを開発しました。このバージョンアップにより、空調機器のきめ細かな直接制御や、拠点の詳細管理が可能となります。本機能を、「BEMS 補助金対応アップデータ」としてお客様に提供します。

■開発のポイント

- (1)空調自動制御機能(デマンド制御、温度制御、スケジュール制御)
 - ・空調制御ソフトウェア開発(EMS 端末/サーバー/リレー制御プログラム)
 - ・空調制御関連機器ラインアップ(リレー制御ユニット/HA 制御ユニット/RS485-LAN 信号変換器)
- (2)遠隔からのリアルタイム監視機能
 - ・リアルタイム監視ソフトウェア開発(EMS 端末/サーバー)



エコポンパくん

今後お客様向けに、「エコポンパ」導入事例および今回の新機能を具体的なデモンストレーションとともにご紹介する説明会・内覧会等を、積極的に実施していく予定です。

(第1回を6月1日(金)、都内にて実施予定)

*1 ASP サービス: Application Service Provider Service, 業務アプリケーションをインターネット経由で提供するサービス

*2 BEMS: Building and Energy Management System, ビル等でのエネルギー管理システム

*3 補助率1/2もしくは1/3: 補助金の支給を受けるには、一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)の提示する各種条件、機能要件を満たしている必要があります。補助金の詳細については、SIIのホームページ(<http://sii.or.jp/>)をご参照ください。

*4 省エネ法: 正式名称は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」

*5 EMS: Energy Management System, エネルギー管理システム

■BEMS 導入促進事業費補助金の概要について

本年 4 月 4 日、経済産業省 資源エネルギー庁より、「エネルギー管理システム(BEMS・HEMS) 導入促進事業費補助金」におけるエネルギー利用情報管理運営者(BEMS アグリゲータ)として、第一次採択分の 21 事業者の登録が発表されました。

当社もメンバーとなっている日立コンソーシアム*6(幹事:(株)日立製作所)も BEMS アグリゲータ 事業者に採択されました。BEMS アグリゲータは、お客様が中小規模ビル等へクラウドなどを活用した遠隔集中管理型の BEMS を導入する際、省エネにかかわる管理・支援を行います。

- ・事業目的: 中小規模ビル、店舗やテナント等の高圧小口の電力需要家における BEMS の導入を促進し、エネルギー使用の効率化および電力需要の抑制を図ることにより無理のない節電を進め、電力消費量の削減を図る
- ・期間: 平成 24 年(2012 年)4 月から平成 26 年(2014 年)3 月 31 日まで
- ・対象事業者: 原則、契約電力 50kW 以上、500kW 未満の高圧小口需要家
- ・予算額: 平成 23 年度(2011 年度)第三次補正予算額 300 億円
- ・補助率: 1. 設備費 1/2 以内または 1/3 以内
2. 工事費 1/3 以内

*6 日立コンソーシアム: 株式会社日立製作所インフラシステム社、同・都市開発システム社、株式会社日立ビルシステム、日立コンシューマエレクトロニクス株式会社、株式会社日立システムズ、日立コンシューマ・マーケティング株式会社、東京瓦斯株式会社

■「エコポンパ」に関するホームページ

<http://www.hitachi-ce.co.jp/ecopompa/index.html>

■「日立BEMS」に関するホームページ

http://www.hitachi.co.jp/Div/omika/product_solution/energy/smatrgrid/consumer/bems.html

■他社商標、その他商標について

記載されている製品名などは各社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社
社会インフラ事業推進本部 EMSソリューション部 [担当: 助田(すけだ)、吉田]
電話: 050-3033-5967(ダイヤルイン)

以上

添付資料

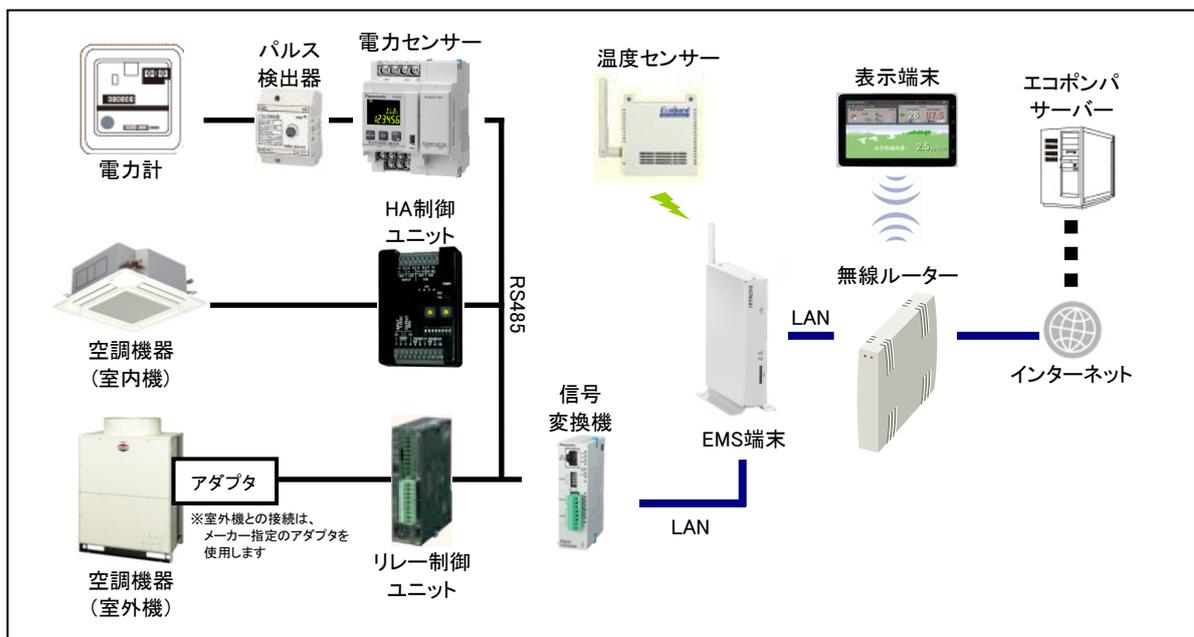
1. 空調自動制御機能について

あらかじめ設定したデマンド値を超えないように、空調の電源をオフしてピーク電力を抑制します。終業時刻や任意に設定した時刻*1 になると自動でオフするスケジュール機能にも対応し、空調の消し忘れを防止するので、きめ細やかな制御で無駄を省いて電気料金を基本料金・電力量料金の両面から抑えることが可能です。また室内温度の適正範囲を設定し、その範囲内で空調を稼働させることによって、適切な室内環境を維持するようにコントロールします。デマンド値やスケジュール等の設定は、パソコンのサーバー管理画面からインターネット経由で行います。

【制御機能一覧】

項目	機能
1 デマンド制御	基本料金を下げたいお客様向けに、電力センサーにより電力量を計測し、任意に設定したデマンド値を超えないように、空調機器(室外機)の動作を制御する機能。
2 スケジュール制御	終業時刻や任意に設定した時刻に自動で空調機器(室内機)を OFF し、無駄を削減する機能。
3 温度制御	温度センサーにより、居住空間の温度を計測し、任意に設定した適正温度範囲内で、間欠運転や空調機器(室外機)を OFF するなどの動作制御を行う機能。適切な温度を維持しながら使用電力量を削減する。

【システム構成概要】



*1 任意に設定した時刻: 終業時刻以外の任意時間指定による自動電源オフ機能については、2012年6月以降順次対応予定です。

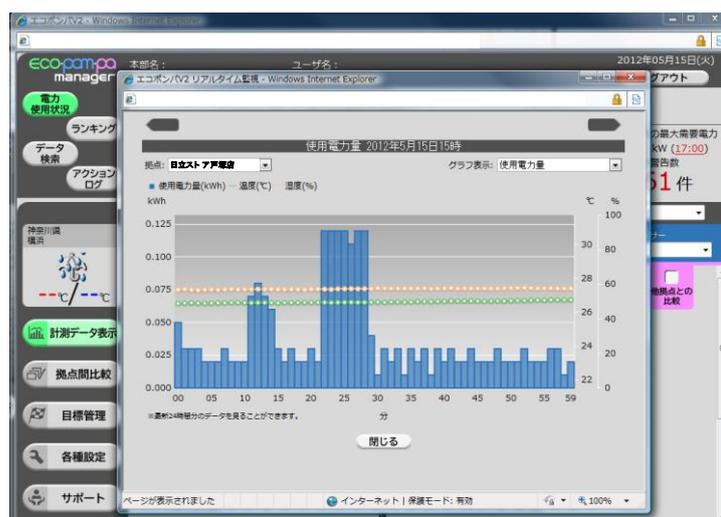
2. リアルタイム監視機能(表示端末/サーバー)について

各拠点の計測データをリアルタイムで確認することが可能です。拠点に設置した表示端末では、計測データが1分ごとに更新され、グラフ表示するので、目標値に対しての使用状況や室内温度の変動を把握できます。また、計測データはEMS端末からエコポンパサーバーへ10分おきにアップロードされるので、本部管理者も各拠点の使用電力量、室温などの状況を10分間隔で確認することができます。

【リアルタイム監視画面(表示端末)】



【リアルタイム監視画面(サーバー画面)】



このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
